みなみっ子

81号

令和８年１１月１１日（水）
南城市立大里南小学校
文責　校長　與儀　毅

学校教育目標　　自立　　協働　　創造

校長講話(10月23日実施)

本日の全校朝会にて、児童へ次のような話をいたしました。

今日、みなさんにひとつ質問をします。頭でしっかり考え、心の中で答えて下さい。声ににしないでいいです。では、質問をします。みなさんは、「世界にたった一つしかない、とても大切な宝物」を育てています。その宝物が何か、わかりますか？それは、「自分自身」です。自分の心や体、自分の考えや優しさ。それらはすべて、世界であなただけの特別な宝物です。

では、その大切な「自分自身」を育てるのは、いったい誰でしょうか？保護者のみなさんは、温かく見守り、手助けをしてくれます。先生がたも、勉強や運動の仕方を教え、応援します。友達も、一緒に笑ったり励まし合ったりしてくれます。周りのみんなは、大切な「水」や「太陽の光」を届けてくれる存在です。

でも、そ**の水や光をしっかり吸い込んで、自分という芽を伸ばし、大きな花を咲かせるのは、他の誰でもない「あなた自身」です**。自分で「やってみよう！」と思って踏み出す一歩。「失敗したけれど、もう一度がんばろう」と立ち上がる心。「自分ならできる」と信じて努力すること。これらはすべて、あなたが自分自身を大切に育てている証拠です。自分のことを大切に育てられる人は、友達のことも同じように大切にできます。今日からまた、「自分という大切な宝物」を、自分の手で少しずつ、大きく育てていきましょう。

この内容は、2学期のスタートにあたって、子どもたちに一つだけ心がけてほしいこと「自分から進んで協力し、一歩踏み出すこと」とも関わります。保護者の皆さんは温かく見守り手助けをしてくれ、先生たちは学びを支え、友達は共に笑い励まし合ってくれます。周りの大人は、いわば水や太陽の光のような存在です。

しかし、その水や光を吸い込んで大きな花を咲かせるのは、他の誰でもない『自分自身』です。自分で『やってみよう』と一歩踏み出すこと、失敗しても立ち上がること、自分を信じて努力すること。これこそが、自分自身を大切に育てるということです。自分のことを大切にできる人は、友達のことも同じように大切にできます。自分という宝物を、自分の手で大きく育てていきましょう。」

子どもたちが自立に向け、自分の力で芽を伸ばそうとする姿を、ご家庭と学校が共に「太陽や水」となって温かく支えていければと考えております。引き続き、子どもたちの輝く挑戦を共に見守ってまいりましょう。

